

# Yamanashi

日本語 / English / Português  
Quarterly Newsletter

財団法人山梨県国際交流協会機関誌

3月・4月・5月号

March/ April/ May

março/ abril/ maio

2009



## CONTENTS

やまなしの思い出 Memories of Yamanashi	2
県海外技術研修員・県費留学生・派遣職員レポート	
JICA 通信「名前の由来 in ガーナ」	4
Relatos das estagiárias brasileiras	5
O "World Charity Christmas" da YIA	6
Memories of Yamanashi	7
YIA info 「ワールド・チャリティクリスマス」	8
国連講演会「ソマホン、アフリカを語る！」	
Cooking @ Home タイ料理「レッドカレー」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

韓国、ブラジル、タイ、台湾料理などの異国情緒あふれる香りに包まれながら、アフリカンジャンベやペルーの民族音楽が鳴り響くエントランスホール。

昨年 12/13 (土) に開催した「ワールド・チャリティ・クリスマス」は、多くの企業、団体、そしてボランティアの皆さんに支えられ、毎年、国際色豊かに、多彩な内容でお届けしています。(詳細は、8 ページ参照)

Os rufos do jambe africano bem como da melodia andina do Peru ecoaram por todos os cantos do saguão principal do Centro Internacional de Yamanashi além de se misturarem ao cheiro dos pratos típicos coreanos, brasileiros, tailandeses e taiwanês, em 13 de dezembro passado. O evento natalino "World Charity Christmas" é realizado anualmente com o apoio de inúmeras empresas, grupos e organizações voluntárias. Graças ao apoio de inúmeros voluntários o evento foi realizado com grande êxito. (Vide detalhes nas páginas 6 e 8)

Participants were surrounded by the smell of exotic cuisines from Korea, Brazil, Thailand and Taiwan. On top of that, the sound of African drums pounding and Peruvian music were resounded through the International Centre lobby.

The World Charity Christmas 2008 was held on December the 13th. A board range of assistance was received from local groups to enterprises, residents to foreigners, because of their supportive actions, the Yamanashi International Association was able to bring you a myriad of programs and activities every year. THANK YOU ALL FOR YOUR SUPPORT.

# Lee Mi Hee

## 富士の国、山梨で過ごした楽しかった時間

李・美熙 Lee Mi Hee

韓国／現代日本語文法研究／山梨県立大学

たくさんの山々と自然に恵まれている美しい山梨での私の生活は、どうだっただろうか。

今までの生活の一つ一つを思い出しながら、また顧みながら楽しかった生活を語ってみたいと思う。

初めて山梨に来たのは、2008年4月の終わり、雨の降る夜だった。4月の一番大きなお祭り、信玄公祭りが見られなかったのは大変残念だと思ったが、電車の中から初めて眺めた山梨は私の故郷と似ていたの、抱いていた不安からやっと開放された感じが癒されるような気がした。

山梨に着いてまず、連れて行ってもらったところは県立美術館だった。たくさん木々や花々が植えられていてとても綺麗な印象を受けた。美術館の中には、本で見覚えがあるJean Francois Milletの絵が掛けられていた。Jean Francois Milletの作品には農民を眺めるあたたかい視線があった。静寂の中にも、ゆっくりと脈打つ大地の鼓動が感じられ、つましく素直に生きていく素朴な農民たちの姿が描かれていた。このような素敵な作品が集まっているとは考えもしなかったため、すごく感銘を受けた。おそらく、多くの山梨県民も私のようにこの絵から感銘を受け、心が温かくなっているのだろう。私の地元にもこのような立派で気軽にいける美術館が建てられたら、という羨ましさと共に期待を掛けてみたくなった。

他にも、たくさんの体験をしてきた。学校では和太鼓と陶芸部とIVCと韓国サークル、BABU部で活躍した。特に自ら参加した「FM甲府プロジェクト」は企画・演出・台本作りなど、ラジオ放送関連の勉強もできた。初めてDJとして私の声が録音され、山梨県内に流れた時はビリビリする快感も味わった。今は「HELLO、TAGENGO!」という番組名で毎月1回、FMラジオで放送されている。(都合が合う方は是非。)

この中でも一番楽しかった時間は夏休みだった。夏休みが始まったと同時にまず出かけた所は、いつしか私の心のロマンになっていた富士山だった。「日本＝富士山」とも思われるほど富士山は日本の象徴だったので、登るということはとても素敵なことで、楽しみでもあり、不安でもあり、ワクワクしたりと、不思議な力があった。登ったことがある人の体験談なども調べ、読みながら私なりに富士登山に向けての対策をたてた。酸素スプレーも万が一の場合に備えて、いざと言う時使えるように2本も買った。そして、ついに登山の日が近づいてきた。しかし、朝から身体の調子が妙に悪く、お昼食べたうどんの味もどうだったのか分からなくなる程、緊張が続いていた。

「果たして、私は朝鮮半島で一番の百頭山より高い山で、3500mも越える富士山を、無事に頂上まで登れるだろうか？望んでいるご来光は雲に邪魔されず綺麗に見られるだろうか？絶対中途半端にはさせたくない！」という思いだった。

とても大きな不安で胸が騒ぎ出した。また、「ミヒは出来る！」と自己暗示に夢中だった。今もこの日を思い出すとつい笑ってしまう。

さて、5年前、富士山の5合目まで車で行ったことがあるのだが、その時はまさか私が5年後、登るとは思いもしなかった。だけど、不安もありつつ期待も大きかったため、むしろ早く登りたくなっていた。「高い頂上で見るとご来光はきっと美しいに違いないだろう！」と。

富士山も私の登山のことを知っていたのか、この日は私たちの登山を喜んで迎えてくれたような気がした。「頑張って登って行ける！」と強く感じた。持ちつ持たれつ、また抜きつ抜かれつ、6合目までは面白半分に登れた。しかし、だんだん傾斜も急になって、道も凸凹で激しく狭くなって、登って行くうちに私は先が見えない苛立たしさで、息苦しさで、とても大変だった。それで7合目からは自分のペースで登ることになった。他人との競争でもあるまいし、そのような高いところから眺

昨春来日した県海外技術研修員、県費留学生、派遣職員、自治体協力交流研修員の皆さんが、この度それぞれの研修、研究等を終了しました。

山梨での日々や研修等の様子を振り返り、代表して3人の皆さんにさまざまな思いを綴っていただきました。

出身／研修(研究)内容／研修(研究)先



める山梨の綺麗な夜景と、見上げるとロマンチックな夜空に気づかずに登るのはむしろ残念だと思った。しかし、ずっと溜まっていた疲れがふつふつと湧き上がり、身体の疲れは言うまでもなく、精神的な疲れはすぐにでも全部を投げ出してしまいたい気持ちにさせた。これからは諦めようとする私と、頂上まで登ろうとする自分との戦いの始まりだった。何回も何回も頭の中で諦めるか、登るか、で混乱していた。結局、自力で誰の助けもなく登ってみせると心を決めたと。8時間も登って、残り頂上までは後200m！ご来光の姿が少しずつ雲の合間から現れてきた。本当に涙が出そうだった。髪はばさばさ、喉は渇いているし、足はがくがくくな状態だったからだ。だけど、日本で一番高い山の上から見るご来光はとても眩しく、実に壮観だった。ご来光を見ると頂上までの苦しみが報われたような気がした。見られただけで、かなり嬉しかった。

しかし、下山もかなり大変だった。足の指にはいくつかの豆が出来てすごく痛いし、先はまだまだ長いし、気をとり直すのが重要だった。だけど、「最後まで自力でやってみせる！」という気持ちが強かったため、何人かの助けもきっぱりと断って、また心を鬼にした。私も相手も疲れているのは言わずと知れた事だし、人の迷惑になりたくはなかったからだ。富士登山は思ったよりもとても大変だったが、今は日本での生活での一番の誇りとして私の自慢話にも入っている。「私は、3776mの富士山を酸素も使わずに無事に登ることができました！」って。

他にも夏休みの間は、日本人の親友と一緒に旅行にも行った。名古屋と、岐阜県と、白川郷と、沖繩に行ってきた。また、山梨県内の小学生や高校生達との触れ合いとしてキャンプにも参加した。そこでは、初めて体験した乗馬と、生徒たちとのハイキングが未だに頭に残っている。

市川・石和花火大会もなかなか綺麗だった。特に、近くで見られて、頭上でばんばんと打ち上げられる花火の見物は珍しかった。他にも日本の踊りの公演を見ることが出来たし、暇な時は祭りなどを調べて見に行ったり、武田神社と善光寺へもよく出かけた。また、いくつもの「韓日交流事業」にも参加したり、県立大学と国際交流センターでの韓国語講座も始めて教える喜びをしみじみと感じながら、夏休みが終わるまで忙しく過ごして、嬉しい悲鳴をあげた。

秋になってからは紅葉を見に出かけて、思う存分綺麗な紅葉を見ながら写真もたくさん撮ったし、研修旅行で初めて広島に行き、世界文化遺産の原爆ドームと宮島の厳島神社も見えた。それから京都にも行って名所を見物した。「紅葉がちょうど見ごろで運が良かったな。」と今も思う。山梨大学で開かれたスピーチ大会に参加して、私の故郷を紹介したことも忘れないだろう。賞は貰えなかったけど、久しぶりに緊張もしたし、私に刺激を与えてくれた人が多くて、反省の時間も持ちながらの充実した経験だったと思っている。

山梨県で始めた私の留学生活は、山梨県に着いて以来、さまざまないい経験や、たくさんの思い出を作ることができた。その他に、料理も確実に最初より上手になってきて、チヂミやブルゴギはさっと作れるようになり、腕も上がって友達や知り合いをもてなせるようになってきたのは嬉しく思っている。また、いろいろな国から来た研修生たちとの出会いや、彼らと共にした大事な時間や思い出も一生忘れないことだろう。研修生たち皆が帰国してしまおうとなんとなく寂しくなるが、「出会いは別れた」という言葉もあるように、また何処かで会えるのだろうと楽しみにしながら生きて行きたい。「皆、連絡し続けようね！」

最後に、この場を借りて、今まで私のことを思ってくれた方々に、ありがとうございます！！  
また会いましょう～！ ヘンボツ ハセヨ～！！ アンニョン♥



# Yang Yuanyuan

## 今までの山梨での研修について

楊 媛媛 Yang Yuanyuan

中国／日本の地方行政の研究／県国際交流課

大家好！パンダの故郷の中国四川省からの派遣職員、楊媛媛です。二回目の日本で、美しい富士の国、山梨県に来られたことを嬉しく思います。来日した4月29日からまもなく10ヶ月になります。この10ヶ月の研修で、いろいろな体験をして、それぞれにさまざまな感想があります。

初めて日本に来たとき、あちらこちらに咲くすばらしい満開の桜が、日本全体をやさしく引き立たせており、私も美しい桜を楽しみました。富士の国、山梨県。毎日、窓から真っ白な富士山を見ることができるとは、まったく思っていなかったのです。思いがけないことに、8月2日の夜、私は他の研修員とご来光を楽しんだだけでなく、日本一の高い富士山に登ったのです。その時が、私にとって初めての登山でしたので、自分へのチャレンジとして順調に実現できたことが非常に嬉しく、言葉で表現することができませんでした。研修期間で、そのことが最も忘れがたい思い出になっています。

とはいえ、ただ夢中になって、毎日富士山の写真を撮っているだけではなく、研修生活は忙しくて充実しています。山梨県のホームページと富士の国観光ネットの中国語トビックス翻訳、さまざまな文書の中国語翻訳などを担当し、山梨県をより理解することができました。日本の公務員たちの実際の職場生活と仕事分担を見ました。日常の仕事から、公務員の県民に奉仕する姿が見られ、また公私をはっきりと区別している姿がありました。仕事ぶりから、日本人の勤勉でまじめな様子が伝わってきました。また、日々の中で、生活資源や環境などを大切にしていることがわかりました。観光部国際交流課を通じて、日本及び山梨県は、国際交流や国際協力、国際観光などを重視していることを知りました。特に国際理解教育に重きを置いているので、山梨県において学校での国際理解教育授業と教育旅行が盛んになっています。最初、日本語学校で4ヶ月間、日本語研修をした後、9月から小中学校、高校、大学へ行き、学生と交流を図りました。毎回、学生達が中国のあらゆることに関

心を持っている姿を見て深く感動しました。また、6月から八ヶ岳清里のキャンプや八ヶ岳のネイチャー体験など、小学生と一緒に、山梨県の豊かな自然に触れるイベントに参加しました。子供たちと一緒に森の冒険に出かけたり、農産物を収穫したり、国際色豊かな料理を作ったり、ゲームやキャンプ・ファイヤーをしたりしました。楽しい夏を過ごただけでなく、日本の学校の実態と学校教育、そして授業以外での教育の大切さを数多く学びました。その他、中国四川省、北京市、大連市などからの学生教育旅行団の受入時に通訳として日本の学校で学生達と一緒に交流活動に参加できました。学生たちはお互いに簡単な英語、日本語、中国語でコミュニケーションを図り、ホームステイを通じて日本の家庭生活を体験しました。青少年間の交流は、両国の相互理解にとっても大切なことだと思いました。

山梨では研修員全体の集会活動がいっぱいです。文学館などの文化施設の見学、美術館の名作ミレーの鑑賞、また日本の伝統舞踊や演歌、音楽などを楽しみました。身延山の見学や市川大門の漉き和紙作り、広島原爆ドーム・宮島厳島神社、京都の金閣寺、清水寺などの県外研修、小瀬スポーツ公園でアイススケートを体験しました。個人的にも、週末や祝日に東京や伊豆半島、横浜などに出かけ、多様化している日本社会を見ることができ、見聞を広めることができました。

帰国後は、研修の成果を生かし、上達した日本語で中国と日本、四川省と山梨県の交流事業に真剣に取り組んでいきたいと思っています。私にとって、派遣職員として、四川省の友好都市、山梨県に来る研修チャンスがもたらえたことはたいへん幸せだと思っています。このチャンスを与えてくれた山梨県及び四川省にとっても感謝しています。お世話になった日本の友人達や日本語学校の先生達にもとても感謝しています。

研修中いろいろお世話になった皆さま、ぜひ中国へ、四川省へお越しください！



# Milleanni V. D. Cunha

## 山梨について

ミレアニ ヴァスコンセロス ドミンゲス クニャ  
Milleanni Vasconcelos Dominguez Cunha

ブラジル／看護／市立甲府病院

「山梨は南アルプスや富士山に囲まれ、非常に自然豊かな恵まれている場所ですよ。」と先輩に話を聞いていましたが、私にはこれ以上の言葉はありませんでした。日本にくることは、長年待ち望んでいた夢でした。だいぶ前から日本に憧れていたもので、日本語、歴史、習慣について学んできました。そのお陰でこの貴重な機会が与えられ、心から感謝しております。

山梨に着いたばかりの頃、建築をはじめ、住宅、日本の人々、文化、気候が全てブラジルと異なっていたことが印象的でした。そして、コミュニケーションが取れないことが一番の不安でした。

一ヶ月間、日本語の集中講座を受け、研修をはじめめる事前準備として言葉、文化や習慣の面で非常に役に立ちました。授業と共に琴、書道、折り紙、舞踊や日本料理など、多様な日本文化に触れる機会もありました。

ある6月の朝、初めて部屋の窓から富士山を見ることができました。あの瞬間、美しさに感動してしまい、ぐっとこみ上げてくるものがありました。それは言葉に表せない程でした。数ヶ月が経った今でも、富士山が見える度に不思議で、立ち止まり、しばらく時を忘れ眺めています。

私は、看護師として市立甲府病院の産婦人科で研修を行いました。日本語の医

療専門用語がわからなかったのが、はじめ頃はとても緊張していました。専門用語や職場環境に慣れるまでは大変でしたが、時間と共に壁を乗り越えることができました。私の専門分野でもいろいろな経験を積むことができ、数多くの友達もできました。

休みの日には、旅行をしたり、コンサートや劇場にも行き、宝塚まで観賞できました。「ブラジルを楽しもう！」「新しい航海へVamos!」「ワールド・チャリティ・クリスマス」など、国際交流協会主催のさまざまな交流事業に参加したり、清里へ小学生たちと一緒に国際キャンプ、また富士登山もしました。

山梨県国際交流センターでは、いろいろな国の人たちと生活し、その国の習慣や異文化に触れ、相互理解を深めながら、お互いに尊敬し合うことの大切さを学びました。

広島と京都への視察研修旅行でセンターの仲間たちとの絆がさらに深まり、一緒に「原爆の悲惨な歴史」や「進歩した日本」を垣間みることができました。

帰国するのは非常に辛いことですが、山梨での思い出や感謝の気持ちは一生忘れません。Muito obrigada!

# JICA 通信



元気なガーナの子どもたちと一緒に

## 名前の由来 in ガーナ



みなさん、こんにちは！  
今回の JICA 通信は、前回に引き続きガーナで教えてもらったことを皆さんに紹介します！

### 生まれた曜日？

ガーナでは、生まれた曜日によって名前をつける風習があるようです。たとえば、月曜日生まれの男の子は、「クウジョ」。火曜日生まれの女の子は、「アベナ」。10月に取材をした渡辺薫子（かおりこ）さん（富士吉田市出身）は、日曜日生まれなので、ホームステイ先の家族から「アコスア」と呼ばれていました。ちなみに、私は土曜日生まれなので、ガーナの名前は「アマ」です。

曜日毎に名前があるので、ひとつのクラスに同じ名前の人が何人もいたり、兄弟でみんな同じ名前ということもあるそうですよ！

下の表を参考に、みなさんのガーニアンネームを探してみてください。

男性	曜日	女性
クワスイ	日	アコスア
クウジョ	月	アジュワ
クワベナ	火	アベナ
クワク	水	アクア
ヤオ	木	ヤー
コフィ	金	エフィア
クワメ	土	アマ



イエーイ！！



授業中は真剣です！



アフリカの大地でポーズ！？



オレンジおいしいよ。

### \* 募集のお知らせ \*

#### ○ JICA ボランティア

4月から青年海外協力隊 (20-39 歳対象)、シニア海外ボランティア (40-69 歳対象) の募集を行います。山梨県でも、募集説明会を行います。詳しくは9ページをご覧ください。

#### ○ 教師海外研修

4月1日から5月8日まで、教師海外研修に参加していただける教師の皆さんを募集します。  
夏休みの10日間、「モンゴル」で研修を受けてみませんか？  
実体験をもとにした授業を展開するチャンス！  
ぜひ応募ください。  
詳しくは、JICA 地球ひろばのHP からご覧ください。  
<http://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

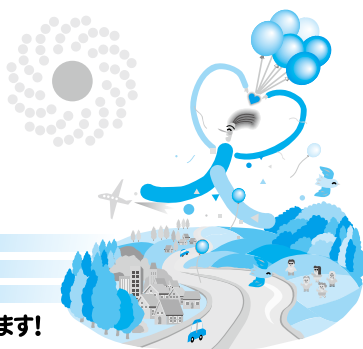
### JICA 山梨デスク 松岡

〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-3 (財) 山梨県国際交流協会内  
Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 [jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp](mailto:jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp)



お客様の“満足”が、  
アドヴォネクストの  
主力商品です。

アドヴォネクストはヴァンフォーレ甲府を応援します！



印刷全般 ホームページ制作 データ作製・管理  
その他、“困ったこと”のお手伝い

### 株式会社 アドヴォネクスト

〒409-3845 山梨県中央市流通団地3-4-5  
TEL055-273-6141・FAX055-273-6144  
URL <http://www.advonext.com/>

# FAREWELL TRAINEES!

Between April to June 2008, five Overseas Technical Trainees, two Exchange Students, two Overseas Civil Servants and one Municipal Employee Cooperative Exchange Trainee arrived in Yamanashi, and after about a month of Japanese language study, each went to his or her respective institution to start an eight months training program.

How time flies! Eight months passed in the blink of an eye. Many of them feel there are still a lot of things to learn; still a lot of places to visit and explore but no time to do so. The followings are some farewell messages from the trainees about their lives in Yamanashi.

*Lee Mi-Hee (Korea)*

*Yamanashi Prefectural University*



“ My time spent in Yamanashi was very cherished. My first impression was that the environment is very similar to my hometown because of its lush greenery. I joined the Japanese drum club and pottery club at university, apart from that I also participated in many events, which were organised by the Yamanashi Prefecture. The most memorable moments were when I reached to the peak of Mount Fuji; visited various places for the summer firework shows and during the study tour to Kyoto and Hiroshima. It was not until I arrived in Yamanashi that my cooking skills improved dramatically and so did my speaking ability. I made many friends here and I believe that ‘ Saying goodbye is only just the beginning”, I look forward to meeting everyone again in the future”

*Yang Yuanyuan (China)*

*Yamanashi Prefectural Government*



“ I was so happy when I leant the news that I was coming back to Japan for the second time. It was really great to come to Yamanashi. I couldn't believe that I was able to look at Mount Fuji everyday from my room. Working in the

prefectural office allowed me to study how Japanese public servants take the extra step to serve the public and always put personal affairs aside at work place. I was very impressed that everyone takes great care in preserving and maintaining the natural environment and resources. During my training here, I was able to contribute to the development of international exchange and promotion of friendly relationship between China and Japan. I would like to say thank you to Sichuan province for this wonderful opportunity and to Yamanashi Prefecture for giving me a heart-warming time“

*Milleanni Vasconcelos Dominguez Cunha (Brazil)*  
*Kofu Municipal Hospital*



“ I heard from my predecessor that Yamanashi is a place full of nature and is surrounded by distant range of the Minami Alps and the famous Mount Fuji. I have to say that she was absolutely right. I worried about my communication skills when I first arrived. However, I felt a little bit relieved after a month of Japanese language training. My work place was at Kofu Municipal Hospital; it took me a while to adjust the working environment and to apply difficult medial terms in Japanese, but with the helping hands from my colleagues and friends, I was able to overcome the obstacles. I felt that a quick way to learn a foreign culture is to understand it; appreciate it and overcome any cultural differences. It's very sad that I have to leave but I will always remember my time in Yamanashi.

Well Done to all the trainees! This is a wonderful achievement and you should all be very proud. We hope to see you make good use of your Yamanashi experiences, becoming active members of your respective fields and we also hope to see you back visiting Yamanashi one day, after having told all your friends and relatives about the charms of Yamanashi and contributing to the building of a bridge of friendship between our two regions.



ビジネスサポート  
BUSINESS SUPPORT



こんな時は私たちにご相談ください！！

ビザの延長や変更の手続きは？ 外国人を呼び寄せる手続きは？  
国際結婚の手続きは？ 永住／帰化の手続きは？

Consult with us!

The way of renewal of visa, and change. How to invite a foreigner to Japan.  
The method of an international marriage. How to get permanent residence/Naturalization

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居 1666 TEL:055-233-0211  
営業時間 08:30~18:30 (土、日、祝日は休業)

## World Charity Christmas 2008



12月13日、国際交流センターにて毎年恒例のワールド・チャリティ・クリスマスが行われ、260名を超える皆さんにお越しいただきました。

今年は、インターナショナルのど自慢からはじまり、台湾山地舞踊、アフリカンジャンベ、セニョリッタ・マリネラ（ペルー舞踊）、沖縄舞踊等、さまざまなパフォーマンスの他、タイ、台湾、メキシコ、韓国、ブラジル料理など世界の料理を楽しみました。

参加費やオークション、各国料理ブースの売上げ等の収益金225,209円は、子供たちへの支援を行っている2団体、フィリピン「バンタイバタ163」<www.bantaybata163.com/home.asp>へ195,209円と文房具&おもちゃ、ミャンマー「Ko Ko Ro Volunteer Group」<www.kokoro.jp.org/>へ30,000円を送らせていただきました。また、山梨ラオス友好協会を通じて、ラオスの小学校へ文房具を送らせていただきました。ご協力をいただいた皆さま、本当にありがとうございました。

### ご協力ありがとうございました！

国際ソロプチミスト山梨、(株)小林事務機、富士ゼロックス山梨(株)、東京ガス(株)甲府支社、ビタゴラス・ブラジル山梨校、ユニマッドライフ甲府営業所、山梨台湾総会、ココ・コーラ・セントラルジャパン(株)、エフエム甲府、日本連合警備(株)、(株)ヨネヤ、(有)アズサ(敬称略)、その他、ボランティアの皆さま。



鰻池(うなぎいけ)ラチャニーさんは、タイ、バンコク出身。現在、甲斐市在住。16年前来日し、家業の農業、会社勤め、主婦、法廷通訳、翻訳等、忙しい毎日を送っています。

辛い、酸っぱい、しょっぱい、甘い...そしてさまざまなハーブの香りを一度に味わうことができるタイ料理。

今回で紹介する「レッドカレー」は、タイの人々の間で、日常的に食べられている家庭料理のひとつです。レッドカレーペーストは、赤唐辛子が多く入ったもの。カレー料理以外にも妙めものやタイ風さつま揚げ等の調味料としても使われています。

### 作り方

- 深鍋にココナッツミルク、水800ccを入れ、だまにならないよう混ぜながら沸騰させる。ココナッツミルクの固まりは、別の鍋へ移しておく。
- 一口サイズに切ったとり肉、たけのこ、かぼちゃを沸騰した鍋に入れる。かぼちゃが柔らかくなったら、パプリカと背わたを取って殻をむいたエビを加える。
- 移しておいたココナッツミルクの固まりを温め、その中へレッドカレーペースト、みじんきりにしたバイマックルーを入れる。混ぜながら、5~10分ほど煮詰める。
- 煮詰めたレッドカレーペーストを深鍋に入れる。混ぜ合わせながら、ナンプラー、砂糖を加え、味を整えてできあがり！ご飯と一緒にどうぞ。

### 「レッドカレー」 (タイ料理) 材 料 (約6人分)

- えび(ブラックタイガー).....12匹
- とり胸肉(一口サイズ).....350g
- かぼちゃ(一口大サイズ).....1/2個
- たけのこの水煮(千切り).....150g
- パプリカ.....1個
- バイマックルー(こぶみかんの葉).....4枚
- レッドカレーペースト.....大さじ5
- ナンプラー.....大さじ5
- 砂糖.....大さじ4
- ココナッツミルク(400g).....2缶
- 水.....800cc



レッドカレーペースト、ナンプラーは、タイストアーまたは、インターネットで購入可。

## 「アフリカの声、ゾマホンの声」

11月8日、ベナン共和国大統領補佐官のゾマホン・ルフィンさんを迎え、国連講演会「アフリカと日本の抱える問題」を開催しました。

この日、国際交流センターはアフリカの風に包まれていました。

JICA推進員のガーナ出張や海外協力隊員のベナンの写真、会場から聞こえてくるアフリカ太鼓の響き、そして100名を超える聴衆がゾマホンさんを迎えました。

ゾマホンさんは、アフリカの悲しい歴史の中で人々がどんな扱いを受けてきたのか、感情を露わに語り始めました。わたしたちの知らなかったアフリカの本当の姿...

圧倒される聴衆に、「ヨーロッパやアメリカを通して入ってくる情報だけを鵜呑みにしないで確かな情報を知って下さい！」と力強く訴えたゾマホンさん。

祖国ベナンでは、教育普及のために自らの私財で学校を建設、安全な飲み水確保のための井戸掘り、日本では執筆活動や講演会にと、寝る間も惜しんで祖国のために進み続けています。

講演会終了後のアンケートには、枠に書ききれないほどの感想を下された方、涙が出そうだったという方、明日からの生き方をもう一度考えたいという方...

ゾマホンさんの熱い想いに、突き動かされた秋の一日でした。



## クッキング@ホーム

## RED CURRY

## 御見積依頼大歓迎！！

当社の見積を見れば絶対納得できます！  
まずは、お電話か、FAXで見積依頼を！

### 業務内容

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カード・DM  
各種伝票・パンフレット・ポスター・各種冊子類 etc.....

印刷に関することなら

有限会社 西山総合印刷所

〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町165-8

TEL 055-241-4112

FAX 055-241-4112

## 平成 21 年度 JICA ボランティア春募集!



開発途上国で、ご自分の経験・技術を生かしてみませんか?  
興味をもたれた方は、お近くの募集説明会へ!  
JICA ボランティアとして活動された OB/OG の方々のお話を聞くチャンス  
です♪ぜひご来場ください。

### シニア海外ボランティア/青年海外協力隊合同募集説明会

日 時 平成 21 年 4 月 12 日 (日) 1:30pm ~ 3:30pm  
場 所 甲府駅ビル エクラン 5F サロン・ド・エクラン  
応募資格 日本国籍を持つ 20 ~ 69 歳

### シニア海外ボランティア募集説明会

日 時 平成 21 年 4 月 26 日 (日) 10:30am ~ 12:30pm  
場 所 県立国際交流センター (甲府市飯田 2-2-3)  
応募資格 日本国籍を持つ 40 ~ 69 歳

### 青年海外協力隊募集説明会

日 時 平成 21 年 4 月 26 日 (日)  
2:00pm ~ 4:00pm  
場 所 県立国際交流センター  
(甲府市飯田 2-2-3)  
応募資格 日本国籍を持つ 20 ~ 39 歳

※いずれも申込み不要、入退場自由!  
開始 30 分前から開場いたします。

問合せ JICA 山梨デスク 松岡  
Tel: 055-228-5419 Fax: 055-228-5473  
jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp



## 緊急情報ガイドブック

### 『6カ国語版 こども救急ガイド』



夜間・休日の急病時に対応する「小児初期救急医療センター」の情報から、  
救急チェックリストや多言語問診票、ホームケアの方法などを症状別に記  
載しています。

英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語・韓国語・タイ語で作成しまし  
た。(それぞれ日本語と対訳になっています)

■ 問合せ (財) 山梨県国際交流協会 Tel. 055-228-5419

### Guia prático de informações em casos de emergência Guia para casos emergenciais de crianças em 6 idiomas

As informações contidas neste foram extraídas do “Centro Médico de Primeiros Socorros de Crianças” que faz atendimentos noturnos e nos finais de semana. Separados por sintomas de doenças, o guia conta com lista de sintomas, o formulário “monshinhyo” de diagnóstico em diversos idiomas, procedimentos em casa, etc.

Idiomas disponíveis: inglês, chinês, português, espanhol, coreano e tailandês. (com a versão em japonês).

#### ■ Informações

Associação Internacional de Yamanashi Telefone: 055-228-5419

### Medical Emergency Guide Booklet 2008 Parents' Medical Emergency Multilingual Guide



This guide provides information such as After Hour Pediatric Services, Emergency Check List, Methods for Home-care and necessary information on How to Describe Medical Symptoms and Previous Medical History. This is available in English, Chinese, Portuguese, Spanish, Korean and Thai.

■ For More Information, please contact Yamanashi International Association Tel: 055-228-5419

## (財) 山梨県国際交流協会 会員募集中!

ぜひ会員になって、国際交流、国際協力の輪を広げていきませんか?

会員の方には、ニューズレター、パンフレット等をお送りするほか、協会の行う  
各種国際交流・国際協力事業等のご案内、また語学講座受講特別割引をいたします。

個人会員	年会費	1口	2,000円
団体会員	年会費	1口	5,000円
法人会員	年会費	1口	10,000円

皆さまの幅広いご参加とご支援を得て、  
国際交流・協力、多文化共生事業の充実を図っていきます。



#### 法人会員特典

- 山梨県立国際交流センター会議室の予約が3か月前から受けられます。(通常2か月)
- 日本語及び他の言語講師を派遣。
- 翻訳、通訳者等の人材紹介。
- 当協会主催外国文化講座を会員価格で受講いただけます。(10名まで)

## 国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。

<http://www.yia.or.jp/kaigishitu.html> (詳細はこちらへ)

会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

## 会員登録をありがとうございました!

### 個人会員 (入会順・敬称略)

11月 佐藤 薫 姚 波 高見澤直美 城倉 恭子

12月 佐々木 勉 佐藤 光子 Alexander Richard John Yemm  
笠原 好子 清水美知代 坂本 浩章 手島ひろみ

1月 葉袋 優子 松川 裕子 町田 美和

### 団体会員 (入会順・敬称略)

11月 ラボ国際交流センター

1月 山梨県国際教育研究協議会 山梨県中国語・国際交流会



## 【外国人なんでも相談】

と き 毎週水曜日 午後6時30分～9時  
 ところ 県国際交流センター  
 相談員 林ジョニーさん  
 言語 インドネシア語、ポルトガル語、スペイン語、  
 英語、日本語  
 費用 無料

※毎月第一水曜日は、林相談員のほか法律の専門家  
 が相談に応じます。

## 【日本語講座】

と き 毎週金曜日 午後7時～9時  
 ところ 県国際交流センター  
 対象 県内在住で日本語を勉強したい人  
 参加費 無料

## 5月

### 国際サロン「ジェパーディ大会」

英語のクイズやゲームを通して英語のコミュニケー  
 ション力アップを図ります。  
 賞品も多数用意していますので、ALT（外国語指導助  
 手）の先生を通じてお申込みください。

と き 平成21年5月31日（日）  
 ところ 県国際交流センター  
 対象 中学生  
 参加費 500円

## May

### International Salon Jeopardy Competition

For all the JUNIOR HIGH SCHOOL STUDENTS, come and take part in our all-English quiz game and improve your English communication skills. There are fabulous prizes for you to take home! Thus, register with your ALT (Assistant Language Teacher) or the International Centre, NOW!

Time: Sunday, May 31st 2009.  
 Location: Yamanashi International Centre  
 Entrance fee: 500 yen.

### Free Legal Consultation for Foreigners

Time: Every Wednesday night, 18:30~21:00  
 Location: Yamanashi International Centre.  
 Consultant: Johnny Hayashi.  
 The consultation is available in English, Indonesian, Portuguese, Spanish and Japanese. The service is FREE OF CHARGE.  
 \* Mr. Hayashi is accompanied by other legal professionals on the first Wednesday of every month.

### Japanese Language Class

Time: Every Friday night, 19:00~21:00  
 Location: Yamanashi International Centre.  
 The class is for foreign residents in Yamanashi and is FREE OF CHARGE.

## Maio

### Salão Internacional Campeonato Jeopardy

Venham testar os seus conhecimentos de inglês e concorra a inúmeros prêmios especiais.

Local: Centro Internacional de Yamanashi.  
 Data: Domingo, 31 maio de 2009  
 Público-alvo: alunos do chugakkô.  
 Taxa de participação: 500 iênes.

### Consultas jurídicas para estrangeiros e aconselhamentos diversos.

Todas as quartas-feiras, das 18h30 às 21h com agendamento por telefone.  
 Local: Centro Internacional de Yamanashi.  
 Consultas em bahasa indonésia, português, espanhol, inglês e japonês.  
 \* As consultas jurídicas gratuitas são realizadas somente na primeira quarta-feira do mês.

### Aulas gratuitas de japonês

Data: todas as sextas-feiras, das 19 às 21h.  
 Local: Centro Internacional de Yamanashi  
 Público-alvo: todos os estrangeiros residentes na província e que tenham interesse em aprender o idioma japonês.  
 O curso é gratuito.

## 多言語新聞

### 4カ国語版ウイークリーニュース山梨!

山梨日日新聞社では、県内の一週間の主なニュースや山梨県国際交流協会からのお知らせを、日本語、韓国語、英語、ポルトガル語の4カ国語で紹介しています。  
 山梨日日新聞、毎週火曜日発行の「子どもウイークリー」の最終面です。

## Jornal Multilíngue

### “JORNAL SEMANAL MULTILÍNGUE DE YAMANASHI EM QUATRO IDIOMAS”

O jornal Sannichi Shimbun publica semanalmente as principais notícias e acontecimentos da província além das informações da Associação Internacional de Yamanashi em quatro idiomas: japonês, coreano, inglês e português.  
 A publicação é feita todas as terças-feiras e se encontra no verso da página “Kodomo Weekly” do jornal.

## “Yamanashi Multilingual News Weekly”

The Yamanashi Multilingual News Weekly is published every Tuesday by Sannichi News, which focuses on major news issues and announcements from the Yamanashi International Association. Please check the last page of the Children's Weekly for further information and it is available in Japanese, Korean, English and Portuguese.



## 編集後記

さまざまな国の家庭料理を紹介している「クッキング@ホーム」。料理の取材を通じて人柄もだけれど、その人の日常も見えてくるひととき。  
 家族、仕事、ダイエット、趣味などなど、料理の合間の何気ない会話の中に、同じ「人」として共感したり、驚いたり。自然と笑みがこぼれます。  
 国籍、言語、文化などの違いを認め、尊重しあい共に生きていく「多文化共生」。ちょっと身構えてしまうが5つの漢字たち。  
 気づいたら一緒に笑ってた... そんな「多文化共生」も取り混ぜながら、国際交流協会は2009年もさまざまな事業を展開していきます♥ 雨宮

Estive nas Filipinas para visitar as crianças do Bantay Bata 163, instituição beneficiada pelo evento do Charity Christmas da YIA. O encontro com os sorrisos das crianças foi uma fonte de calor humano para aquecer este inverno japonês. Inverno este que conta com muitos desafios a serem enfrentados principalmente pelos brasileiros aqui residentes. O ideograma que representa o ano de 2009 é「変わる」"kawaru", "mudanças". Essas acontecem a todo momento, algumas são mais desafiadoras que passam a nortear um novo rumo em nossas vidas. Desejo força e coragem a todos para enfrentarem este momento de mudanças. \*\*\* Érica

It comes to my favorite season again, SPRING!!! It's a great time to have a picnic under the cherry trees. In April, you can choose to dress up like a samurai in the Shingenko Festival, or just enjoying the spectacular parade on the side street.  
 Normally I would express my feelings about the seasonal changes, but I don't think I am going to do it this time. The Yamanashi International Association has been publishing the newsletter for nearly 20 years, we trust you have and will enjoy this and the subsequent issues. We make every endeavour to bring you practical and helpful resources - something in each issue for everybody. If you have any suggestions, please feel free to give us any feedback you may have regarding the newsletter. Yi-Mei

## Yamanashi

### 2009年3月・4・5月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 田中エリカ イーメイ・リー
- Published by  
 Yamanashi International Association
- Edited by  
 Yurie Amemiya Érica Tanaka  
 Yi-Mei Lee

〒400-0035 甲府市飯田 2-2-3  
 tel 055-228-5419 fax 055-228-5473  
 2-2-3 Iida Kofu-Shi, Yamanashi-ken, Japan  
 400-0035

The International centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp)  
 MAIL [webmaster@yia.or.jp](mailto:webmaster@yia.or.jp)

